



これからが これまでを決める

7月1日(水)

今日から7月です。本校では昨日から定期考査Ⅰが始まりました。休校期間中の課題の内容や6月以降の学習内容を確認するテストです。家庭における自主学習や動画配信授業の理解度等がどれくらいなのか気になるところです。

また、この期間を利用して3学年では、本日を含めて2日間「進路検討会」を実施します。生徒の志望状況を学年全体で把握し、面談等での進路指導に反映させます。6月30日付で大学入学共通テストの実施要項が発表されたばかりです。生徒達が不安にならないよう、本格的な対策を進めていきたいと思います。

先日、表題にある言葉に出会いました。浄土真宗、真宗大谷派の名僧である藤代聡麿氏が「これまでがこれからを決めるのではない これからがこれまでを決めるのだ」と言われたそうです。なかなか味わい深い表現であるように思います。過去が未来を限定するのではなく、未来の行動が過去の価値なり意味を決めるのだと受け止めました。



体育館の東側にある月桂樹です。

勝者に贈る冠を作るときに使われることでも知られています。これを乾燥させたものは「ローリエ」として料理にも重宝されます。

私は、前者にあやかって、生徒を試合に引率する時、お守りとしてこっそりポケットやバッグにしのばせていました。香りを嗅ぐと気持ちが落ち着きます。

